新潟大学　人を対象とする研究等倫理審査委員会　オプトアウト書式

①研究課題名	アルツハイマー病脳における細胞間相互作用の細胞性科学的変化の解析
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	
対象者： 本研究の研究対象は、1982 年４月１日以降 2016 年３月 31 日までに、新潟大学脳研究所病理学分野で病理診断されたアルツハイマー病患者さん 20 名、および中枢神経疾患を持たない患者さん 20 名です。従って、対象となる患者さんのご遺族で、新潟大学脳研究所病理学教室に対して病理解剖、及び研究利用、保存の同意をいただいている方が対象です。 対象期間： 1982 年４月１日～2016 年３月 31 日まで	
③概要	
アルツハイマー病に苦しむ患者様やご家族に一日も早く薬をお届けするために必要な評価方法を検討します。アルツハイマー病脳における細胞間相互作用の重要性については不明な点が多く、それを明らかにするために、健常人とアルツハイマー病患者の脳サンプルを用いた比較解析を行います。 対象となるご遺族様におかれましては、本研究にぜひともご協力いただきたくお願い申し上げます。なお、承諾されないという場合は、下記「⑪お問い合わせ先」までご連絡ください。承諾されないというご判断は尊重され、ご遺族様が不利益を被ることはございません。	
④申請番号	2017-0048
⑤研究の目的・意義	アルツハイマー病（AD）に苦しむ患者様やご家族に一日も早く薬をお届けするために必要な評価方法を検討し、社会問題であるこの疾病の治療に貢献することを目的とした研究です。脳には、様々な細胞が存在しており、これらの細胞同士の情報伝達は、記憶形成過程において重要であることがわかっています。しかしながら、AD患者脳におけるこの細胞間相互作用については未だ解明されていません。このことを明らかにするためには健常人とAD患者の脳サンプルを用いた比較解析が不可欠であり、本研究ではそれを行います。
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から 2026 年３月 31 日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	新潟大学脳研究所病理学分野において、病理解剖にて採取した脳組織、及び付随する患者さんの情報（年齢、性別、臨床診断名、罹病期間）を共同研究機関であるエーザイ株式会社、ESI、G2D2に提供します。
⑧利用または提供する情報の項目	病理解剖にて採取した脳組織、患者さんの情報（年齢、性別、臨床診断名、罹病期間）、および中枢神経病理所見
⑨利用する者の範囲	新潟大学および以下の共同研究機関等において、病理解剖にて採取した脳組織、および臨床情報を利用いたします。 新潟大学 脳研究所病理学分野

	共同研究機関：エーザイ株式会社筑波研究所、ESI、G2D2
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学 脳研究所病理学分野　柿田明美 共同研究機関：エーザイ株式会社　井上英二
⑪お問い合わせ先	所属：新潟大学 脳研究所病理学分野 氏名：柿田明美 Tel：025-227-0633　Fax：025-227-0817 E-mail：kakita@bri.niigata-u.ac.jp